

使用済小型充電式電池の回収を始めました

○回収場所／生活衛生係

○回収するもの

ニカド電池、ニッケル水素電池、リチウムイオン電池、モバイルバッテリー(本体ごと回収)
※右のマークの付いたものが回収対象です。

●詳細 生活衛生係 ☎27-7361



各種リサイクルマーク



★市長だより★

71

暑中お見舞い申し上げます。

7月15日・16日の両日にわたり、第51回目を迎えた夏の一大イベント「星の降る里芦別・健夏まつり」が4年ぶりに実行委員会並びに関係者皆様のご協力により通常開催されました。

初日の15日には、雨天にも見舞われましたが、芦別高校吹奏楽局による演奏会にはじまり、芦別名物さくらんぼ種飛ばし大会、民謡のつどい、そしてメイン行事の「芦別健夏山笠」が完全復活を果たされ、「栄流」、「緑幸流」、「北大黒流」の3本の昇き山が、力強くまちを駆け抜ける勇壮の姿を目の当たりにされた沿道の皆様からは多くのエールが寄せられました。

16日には、雨も上がり、子どもたちによるキッズダンスをはじめに、芦別警察署並びに芦別消防団によるお子様向け体験型行事や、まちづくり団体・「星に願いを」による〇×クイズ、市民吹奏楽団による演奏会が行われた後、まつりのフィナーレを飾る「千人踊り」には、13団体、440人を超える皆様と、飛び入り参加された皆様を加えた約500人が色とりどりの衣装に身を包み、笑顔あふれる姿を拝見し、大変心強く、喜ばしく思いました。

4年越しの想いを乗せた芦別の夏の風物詩「健夏まつり」も盛会に終えることができ、改めて市民の皆様、関係者皆様の、参加、協力に感謝申し上げます。

今月5日には、

「キラキラ☆フェスタ」が開催されましたが、こうしたまつり、イベントを通じて、まちに活力を、そして、市民皆様が、暑い夏を健やかに過ごしたいとたく糧となるよう願っております。

7月21日、江別市内の北海道消防学校を会場に開催された、「令和5年度・北海道消防操法(小型ポンプ操法)訓練大会」で、空知の代表として奈井江消防団とともに出場した芦別消防団(選拔選手6人で編成)が、出場12チームの最高得点で、見事「優勝」を果たされ、芦別消防団の名を全道に轟かせられました。

当日私も、視察を兼ね現地で応援をさせていただきましたが、芦別消防団選手の旺盛な士気と、規律正しく、素晴らしい操法を拝見し、大変誇らしく、感動しました。

選手の皆さんは日々多忙な生業の傍ら、約半年間に及ぶ厳しい訓練に励ま



7月16日、芦別健夏まつりの締めくくりである千人踊りに、市民のみならず、市民の皆様と共に参加させていただきました。

れ、その成果を遺憾なく発揮し、優勝の栄に浴されたことに、改めて、深く敬意を表し、心から拍手とねぎらいの言葉を贈らせていただくとともに、これまで選手を支え、応援いただいた高砂団長をはじめ芦別消防団並びに消防職員の皆様、そして、ご家族の皆様の深いご理解とご協力があったの快挙であり、関係者皆様のご支援に深く感謝いたします。

令和元年6月22日以降続いてきた市内での交通事故死ゼロの日が、1500日達成を前に1491日でストップしました。

7月22日、三段滝から2キロほど三笠市寄りの国道452号で、オートバターの単独事故により運転されていたかたが亡くなられるという事態が発生しました。

当日は夏の交通安全運動の最終日で、運動が展開されていた最中での事故で大変残念でありませんが、引き続き、交通事故死ゼロ1000日運動に、市民一丸となって取り組むとともに、特に今の時期は、夏型特有の飲酒運転やスピードの出しすぎ等による事故の発生が多いともいわれますので、関係機関・団体ともしっかりと連携して、悲惨な事故にはあわない、起きないため、市民皆様の一層のご協力をお願いいたします。

芦別市長 萩原 貢 (7月24日記)